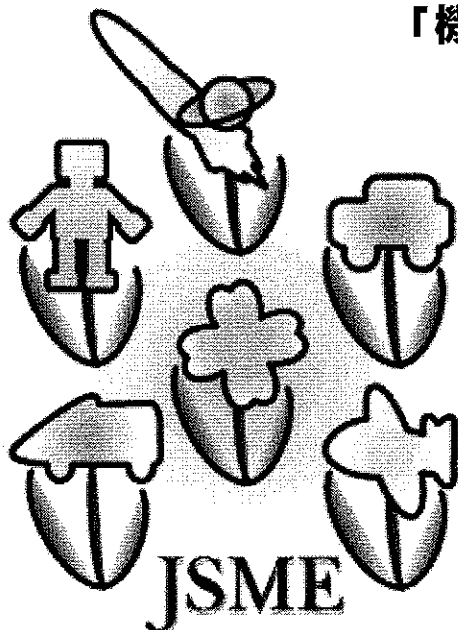




8月7日は「機械の日」

# 「機械の日・機械週間」作文コンテスト 応募作品集

社団法人 日本機械学会  
「機械の日」実行委員会



2007.8.7(1000)

「機械の日・機械週間」作文コンテスト開催にあたって

「機械の日」実行委員長 白鳥 正樹

みなさん、こんにちは。

みなさんがジュニア会友として参加している日本機械学会は、日本の機械工学を支える技術者や研究者の集団です。4万人近い会員がいて、日本の様々な種類の機械産業の一層の発展を目指して活動しています。ジュニア会友のみなさんにはその活動の一部が伝わっていると思いますが、社会には多くの人々がいて、日本機械学会の活動をすべての人々が知っている訳ではありません。さらに「機械って何だろう」と質問しても、世の中には様々な種類の機械があるので、なかなかきちんと答えられません。そこで、日本機械学会では「機械の日」という記念日を定めて、より多くのみなさんに「機械」を身近に感じていただくということになりました。

日本機械学会では、会員のみなさんと相談して、8月7日を「機械の日」とすることに決めました。また、8月の第1週を「機械週間（メカウイーク）」と定め、機械に関するいろいろな催しを行うことにしています。みなさんもよく知っているように、7月7日は七夕です。この名前は、昔は7月7日に「棚機（たなばた）」という布を織る機械を使って神様に差し上げる衣（ころも）を作ったことに由来しているといわれています。その故事（昔からの伝え事）にちなんで、七夕を「機械の日」としました。でも、7月7日は多くの行事と重なるので、ちょうど1ヶ月過ぎた日（中暦といいます）の8月7日を記念日にしました。

この第1回の機械の日を記念して、ジュニア会友のみなさんを対象に、作文コンテストを開催しました。最初はみなさんが応募してくださるか大変心配だったのですが、この冊子にあるように多くのみなさんが作文を書いてくださいました。大変ありがたく思っています。また、応募された作文を読んでいただけるとわかりますが、どの作品もいっしょうけんめい書いたようすが目に浮かぶような力作ばかりです。今回は「コンテスト」なので、3つの作品を優秀賞として選考委員会で選びましたが、審査にあたった先生方によれば、よい作文ばかりで優秀賞を選ぶのに大変困ったと聞いています。

この冊子に載っている作品は多くの一般のみなさんに読んでいただきたいと考えています。みなさんが成長して社会にでて活躍するようになったときに、さらに優れた多くの「機械」が豊かな社会を作るために活躍することを願ってやみません。また、ジュニア会友のみなさんの中から、優れた機械を生み出す人が現れてくれることを願っています。最後に、今回のコンテストに協力していただいたジュニア会友のみなさんに厚くお礼申し上げます。

平成19年8月7日

## も く じ

「機械にかこまれる未来」	石井 藍理（小学校4年）…… 2
「きかいができてどう便利になったのか」	石井 星樹（小学校6年）…… 3
「地球にやさしいべんりなきかい」	石井 拓都（小学校3年）…… 5
「江戸時代の機械（もの）づくりの精神を未来に」	大沼陽太郎（中学校3年）…… 6
「未来のきかい」	桐山奈緒子（小学校4年）…… 8
「僕と祖父と機械」	黒田 健太（小学校6年）…… 9
「機械と私」	曾根原碧乃（小学校3年）…… 10
「ビバ・機械ワールド」	高宮悠太郎（中学校1年）…… 11
「身近な機械」	千葉 丈彰（小学校6年）…… 12
「おもしろい機械」	照井 望（小学校6年）…… 13
「作ってみたい機械」	西脇 巧（小学校5年）…… 14
「パン子ちゃんとなぞのきかい」	東泉 和幸（小学校3年）…… 15
「じしゃくでうごく車」	東泉 和幸（小学校3年）…… 16
「人間と機械の関わり」	舩山真理子（中学校2年）…… 18
「ロボットの不思議」	村上 榛菜（小学校5年）…… 19



2 1

機械にかこまれる未来  
 四年石井 あい理  
 私が大人になつた。今よりも、役に立つ機械が出てくると思います。たとえ、店の店員さんは、いつも、レジとか、たり、品物をならべたり、大へんごまだから、店員さんのかわりには、ロボットを使ふと思ひます。名付けて、店員さんロボット。このロボットは、レジや品物なすべなど、いろいろや、てくれて、店員さんは、とても楽になります。

家の中は、私の家事を手伝、てくれるロボットや機械がい、はいあ、て桌にな、ていきます。

学校には、パソコンが、一人一台ずつありあてられ、勉強します。かいだんのかかりに、エレベーター、きょう食堂には、ロボットが、学校にも、ロボットがい、はいいると思ひます。

道路では、そうじきや、ているロボットや

U.S B 4 20X20

4 3

買い出しに行。ているロボットやゆうびんを配つしているロボットがいま。

空には、けいさつのかかりに、小型のロボットが、こんでいて、はんざい者や、車のスピードいはんを見つけています。

でも、考えてみると、私の周りは、機械であふれかえ、ています。家の中は、まるで工場みたいにな、ています。私は、何もや、ていないのに、こんこん、物ができ上が、てきます。外にも機械が、家の中にも機械が、あ

店にも機械が、学校にも機械がい、はいで、地球が、機械の国、という名前にしても、あかしくなく、び、てしまふかもしれません。私の、い場所がありません。どこに、いれれば、いのごじょうか。

ロボットや機械は、とても、役に立ちます。だから、て、人間は、機械に、たよ、ては、かりで、いのごじょうか。私は、今のまま、で、いと思ひます。だけど、発てんしな、いままで、いのごじょうか。そこを人間が、うま

U.S B 4 20X20

くや。こいがないといけがないのかなと思いま  
した。

U.S B4 20X20

機械ができてどう便利になったのか  
六年 石井 星樹  
ぼくは機械ができてどう便利になったのか  
というテーマを選みました。なぜ選んだかと  
いうと機械ができてからどう便利になったの  
かを知りたかったからです。  
まが、昔と今では機械ができてかどのよう  
に便利になったのか。農業だと田や畑で使う  
道具、工業だと製品造りや輸送に使う船、身  
近な製品だとパソコンや冷蔵庫や洗たく機  
などです。農業では昔だと畑はくわで耕した  
り、田は手で田植えをしたらりして、長時間で  
大変でした。ところが高度経済成長が進むに  
つれ、農業も機械化になり、トラクターや田  
植え機やコンバインなどの機械が造られ、短  
時間で行うことができました。工業では製品  
造りで自動車を造るのに、とそうやプレスは  
手作業でやっていた、とくにとそうは手作業  
でやると危険がありました。また、輸送の  
船も昔はなく、人が運んでいました。けれど

U.S B4 20X20

今は船ができ、たくさん荷物が運べるようになりました。そして工場ではほとんどが産業用ロボットに変わりました。身近な製品もそうした世の中から生まれ、人間社会を便利にしました。

ところが機械の安全について考えるところはどうでしょう。不安で考えてしまっしょう。ぼくは機械の安全だけは正確に検査し、絶対に守るべきだと思います。とくに車同士の事故は調査を十分にしなければいけません。今では、しょうとうに強いボディが造られていますが、それもほんの一部です。

ぼくは今、進んでいるリアモーターカーの開発で、テストや検査を何回も行って、十分な結果が出れば、それが安全に乗るための見本になると思います。そしてみんなが自由に乗れて、安全で事故のないようになれば、それが参考になり、他の機械も便利で、安全なものができるようになると思います。もちろん、不十分な結果が出たらやり直します。

U.S B 4 20X20

ぼくは機械の安全性を確保して正しく使えば、事故もなくなり、もっと便利な世の中になると思いました。

U.S B 4 20X20

地球にやさしい

小三 石井 拓都

ぼくは、やくに立つきかいを作りたいと思  
いました。本を見ている時、ひらがたのい石  
の崩き、くとしぎよくに、つづつコイルを近  
づけて、石を回すとコイルに、う電するこ  
とをはいめて知りました。これをき、かけに  
その発電するきかいを自動車にとりつけられ  
はい気がすをいさなくて、バ、テリーのいら  
ない自動車になります。

2  
バンになり、つづつは、つづつあります。  
一、二日は家にへんしんすることです。しか  
もその家は、人い上モの人が入ります。あつ  
うの家は、形は、テ、ラノサウルス形、形、人入  
ぬ、だん、は、百円です。(おすい、おすい) 形が、大き  
なるほど、人が入る、数は、多、又、なり、ね、だ、ん、も、高  
く、なります。さい、中、ね、は、十、人、で、百、円、に、な、つ、て  
さい、高、ね、は、一、億、人、で、一、億、円、で、す。  
二、三、日、は、全、て、口、ボ、ッ、ト、が、手、伝、い、ま、す。手、伝  
う、口、ボ、ッ、ト、は、一、つ、づ、つ、一、体、の、口、ボ、ッ、ト、が、手、伝

います。手伝う家事は料理、い、ま、あ、り、い

3  
そうい、せいとん、せんたくです。後、で、し、ま、  
う、介、し、ま、す、が、一、番、上、に、の、う、ぎ、が、あ、り、  
泳、り、と、か、を、す、る、時、に、手、伝、う、こ、も、あ、り、ま、  
ま、人、が、何、に、き、や、る、こ、と、が、な、く、て、ひ、ま、で、あ、  
る、べ、い、と、し、て、あ、る、こ、人、が、い、な、い、時、は、口、ボ、ッ、  
ト、が、あ、る、ん、で、く、れ、ま、す。早、の、口、ボ、ッ、ト、は、全  
世界、の、あ、る、ひ、を、知、り、て、い、て、新、しい、あ、る、ひ、が、  
で、きた、ら、あ、る、ひ、を、口、ボ、ッ、ト、に、通、信、す、れ、ば、新、し  
い、あ、る、ひ、も、あ、る、ひ、に、な、り、ま、す。

4  
三、四日は家の一番上に畑や田んぼがありま  
す。ここで野さいやくだものを作っています。  
つづつから、し、か、く、し、て、食、べ、て、い、る、野、さい、な、  
ど、な、の、で、店、で、買、う、ひ、つ、よ、う、は、あ、り、ま、せ、ん。  
た、だ、き、せ、つ、ち、か、い、の、野、さい、は、店、で、買、う、ひ、つ、よ、  
う、が、あ、り、ま、す。  
地球にやさしいところは、ゴミを出さないこ  
とです。たとえ、ば、か、た、足、が、中、が、リ、サイ、ケ、ル、工  
場、に、な、つ、て、い、て、な、ん、で、モ、リ、サイ、ケ、ル、し、ま、す。  
もう、か、た、ほう、の、足、は、い、ま、す。水、場、に、な、つ、て、い、て

家ていから出るはい水を清水にしていふづれ  
 はかた足のリサイクル工場でリサイクルしま  
 す。  
 こういうきかいをぼくは作りたいたいです。も  
 しもせ、けい図しかできなかつたとしても、  
 何せきかたては、できると思っています。

U.S B4 20X20

江戸時代の機械づくりの精神を未来に

山形県東根市五神町中学校三年

大沼 陽太郎

僕は、エンジンやラジコンなど現代的な機  
 械に興味があつて、いろいろと調べたり集め  
 たりしている。しかし、この頃面白いと思  
 うのは過去の日本、江戸時代の機械づくりだ。  
 特に愉快なのは「からくり儀右衛門」こと  
 田中久重（東芝の創業者）の研究だ。儀右衛

門は、今の僕と同じ十五歳の時に久留米がす  
 りに絵模様をつけることに成功した。それを  
 手始めに、からくり人形を作り始めた。その  
 人形はお茶を運んだり、的に弓を射たり、字  
 を書いたりした。更に空砲を発明して周りを  
 驚かせた。大塩平八郎の乱の時には燃える家  
 を見て消火器の発明を志し、十年かけて実現  
 した。僕は、こういっただ次から次へと生み出  
 されるアイデアと知恵にとてもわくわくした  
 なぜならこれらは、単なる思いつきではなく

B4 20X20



新しい機械づくりの切り口となっているためである。そういう意味で、田中久重は僕の憧れの江戸人だ。

極めつけは、万年時計である。ゼンマイを動力源として洋式時刻、和式時刻、日付等を表す文字盤と、太陽と月の運行を表す模型がついていた。ゼンマイは現代の動力機械と違い、有害物質を出さず動力を供給できる。確かに、これにはゼンマイを巻く手間が要る。しかし、自然と共存していくためには、人間

がある程度時間と手間をかけることが必要だと思う。このような点から考えると、からくり儀右衛門(田中久重)の技術は、西洋に引けをとるものではなかったといえる。むしろ西洋の技術が入ってこなかった為、江戸時代にはこのような環境に配慮したシステムがたくさんあった。僕は、そこに感銘を受ける。僕は、将来ものをつくって暮らしていきたいと考えている。その時大事にしたいのは、総合的に状況を見てつくることだ。自分のア

B4 20x20

イデアを、江戸の田中久重がやったように、人を楽しませ、本当の意味で人を助け、地球の視点から見ても、歴史の視点から見ても支持されるものになりたい。つまり僕は、化石燃料に頼らずに機能性を高めた「江戸時代の機械づくりの精神」を現代に取り入れて行くことが、未来を開くヒントになると思う。

B4 20x20

未来のきかい

相山 なお子

私は「食事がんたん器」というものを考  
てみました。

高さは、子どもでもお年よりでも使えるよ  
うに、一メートルで上の部分は、画面とすこ  
し小さめのメニコーホタんで、メニコーの種  
類はお店の名前で「マクドナルド、すしや、  
たがしや、ママク、ワ、牛丼屋、やおや」な

どのメニコーがあります。ホタンをあすそ  
の店の主な品物が画面に出てきて、その中の  
一種を押すと、メニコーの種類で「タマ」した  
店の品物かし。上問い動て品物を「食事がん  
たん器」に送り、下のオートプントースターの  
ようなものの中に入れて、皿の中につまみ  
落ちるようになっています。だから、皿を置  
く場所の近くにかメラが上のところにつま  
み横に一つついていきます。この二つのかメラ  
のおかげで、品物を落とす場所のならいかさ

323 10x20

323 10x20

ためられ、うまく落ちるといふことです。

お金はいり、うたけれども、そのきかいの  
ねたんが高いのです。

なぜこの「食事がんたん器」というのを考  
えたかというは、私のお母さんとお父さんは  
毎日仕事をやっている。お父さんやお母さん  
が、いそがしいと、おにがしをたんに台所いらすの  
食事の用いがかたでもできるからです。

最後に「食事がんたん器」の「器」の字は  
オートプントースターのようなものの中に皿

を入れることから、漢字を「器」にしました。  
みんなで一緒に「おはし」か食べるといいな  
と思います。

Blank handwriting practice area with a grid.

323 10x20

323 10x20



No. 1

No. 1

僕と祖父と機械	小学六年	黒田	健太
「僕、大学に行つて、機械の勉強をするんだ。」と、言う。祖父は、「そうか、そうか。」と、うれしそうでした。			
僕の祖父はずつと建設機械の修理を一人でや、てりました。祖父は七十九歳ですが、昨年までその仕事を続けていました。お客さんから頼りにされて、腕のいい機械修理の職人でした。でも、昨年病氣になつて、仕事が出来なくなつてしまいました。小さな工場も閉めてしまいました。			
僕は、保育園の頃から祖父の仕事をよく見ていました。故障して動かない汚れた発電機やランマーが、祖父が直すとき、カピカピになつて、ちやんと動くのを見て、「すごいなあ、かっこいい仕事だなあ」と思つていました。僕が母に、「将来、いいちやんがたいな、機械の仕事かした。」と言つると、母は、「母は、			

B4 20x20

No. 2

No. 2

「いいちやんの遺伝子かな。お母さんはそういう仕事で、できなかったから、いいちやんがと喜ぶよ。」と、言。てくれました。			
祖父は、「いいちやん、これからの機械はコンピュータの勉強が必要だ。」と、言。ていたので、僕は、大学でコンピュータを使い、たロボットのような機械の研究をしたいと思。ています。そして、いつか、人の役に立つ機械の開発をするエンジニアになりたいと思。ています。祖父は、「機械を作る人は、たくさんいて、直す人は少ない。」と、言。ていました。だから僕は、祖父が直せなかつたコンピュータが使われ、て、いる機械を修理する仕事も、いいかなあ、と、考。えています。			
祖父は病氣になつてしまつたけれど、僕の夢が実現するまで、生きていてほしいと思。います。大学に入学するのも、そこで勉強するのも、と、母も大変だけれど、祖父の喜ぶ顔を思い出して、頑張ります。			

B4 20x20

機械と私

3年 曾根原 碧乃

このあいだロボットコンテストに行きました。いろいろなロボットがありました。わたしたちは、しんさいんをしました。両手に白い丸いプラカードをもってとてもいいときは2つあげて、いいときは、1つあげて、だめなときは、あげません。わたしが一番きにいっぱいは、おそうじロボットです。しくみはくうきの方でチューブをうごかして進みます。わたしは、おそうじロボットをだい表でつかしました。とてもかんたんにうごかせました。ほかのロボットもうごかせて、たのしかったです。ロボットを実さいにさわってみるのは、はじめてでした。つくった大学生の人は、はじめてしくみかわか。てわたしも、つくってみたいと思います。

さき年の夏にイライラぼうというゲームを作りました。アルミ線とまめでんきをうしてんちをつかって作りました。くふうをして、

コクニ ケー10 20X20

ひっかき絵で花火の絵を書きました。花火を見ていろんを作ってゲームをむずかしくしました。しっぱいしてでんきがついたら、花火加ひか。て見えるようにしました。ゲームをしなくても、夏まつりにいるようなきがします。とてもきれいでできました。これがでんちをつか。たはじめての工作です。

わたしは、考えて作るのが好きです。だからロボットの研究を作。たりする大学にいきたいです。もしもロボットはかせになれたら、ホタルのロボットをつくりたいです。どうしてかというと、野生のほたるをみくにた。思。たよりとんでる数がすくなか。たから、あまりみれないほたるをロボットにつくりかえて世界中の人にみせてあげたいからです。うつくしい光を出していたので心加あたたかくなり、みんながしあわせになります。

わたしは、このホタルロボットがほんもののホタルのように光。たらかぞくのみんたにみせてあげたいと思います。

コクニ ケー10 20X20

じハ、機械ワイルド  
 加賀中一年 高宮 悠太郎  
 今、僕たちが生きている世界で機械は人気者だ。危険なところでは、人に変わって作業をしてくれ、人より早く仕事をこなすことができる。交通も便利になった。新幹線や、リアモーターカーなど、たくさん機械が僕たちの生活を支えているのだ。  
 僕は、世の中に、そんな立派な機械たちが活躍していることを誇りに思う。自分がかつたわけでもないのに、親近感がわいてくる。変わった物を見るときは、しくみはどうかというのかなどと考える。すばい工夫が隠されていそうれしくなる。それは、小さい時、パワートヨタのクルマや、クルマを眺めたり、車の空気持ちと変わってはいないようだ。  
 今、ミニ四駆にハマっている。工具箱を開けて、作業をしているときほど楽しんでいる。例えば、モーターの空まわしをして、モーターの性能をアッパさせるのたか、温度か湿度

コナ 7-10 20X20

そのときのコースの仕様によって、弾けずかてくまうことかある。調整は難しいけれど、今度はおパーツを変えようよと、次にアイディアが浮かんでくる。同じ趣味を持つ人たちがマシンを語るのを楽しんで、時間のたつのも忘れよう。  
 そんな僕の夢は、世の中はあつと言わせよう。發明すること。テレビで見せろ、アイは車として紹介させていたけれど、まさしく移動型のロボットだと思おう。僕も環境や人にやさしく、誰でも操作が簡単にできるようなロボットを作りたい。  
 今は、二足歩行ロボットも、解決しなければならぬ問題がたくさんあると聞く。でも、日本の技術力があれば、きっと解決するだろう。進歩は無限大だ。  
 大人になってから、機械があるところでもワクワクしながら仕事かできたよ、すこくうれいです。

コナ 7-10 20X20

身近な機械

千葉 文彰

冷蔵庫や、洗たく機、電子レンジに液晶ディスプレイ。これらは、全て家庭内で使われる身近な機械です。

今挙げた機械は、それぞれ目的があり、言うならば、その目的だけをつぎつめていく、と言っても過言ではありません。というより、その言葉がピッタリ合います。確かに便利に使える機械ですが、人間のようについで自分で考え、行動することができなないので、その点が、いわゆるロボットではなく、電化製品などの唯一の短所と言えます。

冷蔵庫を例にあげて説明すると、冷蔵庫は、もし、欠ければなしの食材などがあっても、いつまでも冷やし続けます。人間ならば自分で考えて行動するため、まあ、これはだいたい冷蔵庫にしましてある。いつ使うのか、その忘れられていくのか、などと考え、そして、冷蔵庫から取り出す、

コクサ ケ-10 20X20

しま、たのは誰なのか、などと『行動』できません。

しかし、機械でない出来事や、機械ならべはの持ちようを生かすこともあります。

例えば、自動車工場の溶接やプレスです。プレスは、自動車のボディのへこみなどを機械で打ちぬいて作る作業です。人間の力では、何かしる力を借りないと、正しく、きれいに出来ませぬよね。溶接も、危険な作業だから、機械がやっているのです。小規模な溶接だ、たう人間でもできますが、自動車はとても大きなので、人間がやるのは危険だから、機械まかせなので、と思います。今挙げた機械は、身近にあるような物ではありませんが、機械でなければできないこと、の例えとしてあげました。

身近な機械にも、当然そのようなことがあり、ります。そうでなければ役に立たないと言え、ます。この作文を書いて考えた『身近な機械』

コクサ ケ-10 20X20

の定義は、機械ならではのことか出来て、そ  
 れでいて、一般点氏でも買えような価格の  
 もの、と定義してみました。この定義は、自  
 分では的を射ていたかな、と思っただけ、世  
 ひ賛同して下さいます。

コナ 7-10 20x20

おもしろい機械  
 照井 望  
 機械というのは、皆さんの身近にあります。  
 例えば、テレビやVCR、コンピュータや  
 ゲーム等です。これを読んでいる皆さんの目の  
 前にもあるおもしろい機械。  
 ところで皆さんは、「機械」と聞くとき、き  
 述べた以外にも、洗濯機やカラーコピー機、  
 車や時計等、電気を使っているものを考えま  
 すよね。ですが、別に電気を使っていない機械  
 もあります。例えばカラクリ人形です。これ  
 は、モーターの代わりにゼンマイ等で動かし  
 ます。ぼくが知っているのは、矢を射る人形で  
 す。このカラクリ人形は、明に矢を射って、  
 見事に当てます。しかし、それだけではありません。  
 ません。わざと一本だけ射る矢を当てません。  
 ほかにもお茶を持って来てくれるカラクリ人  
 形もあります。  
 このように電気を使わない機械も、中々  
 おもしろいです。

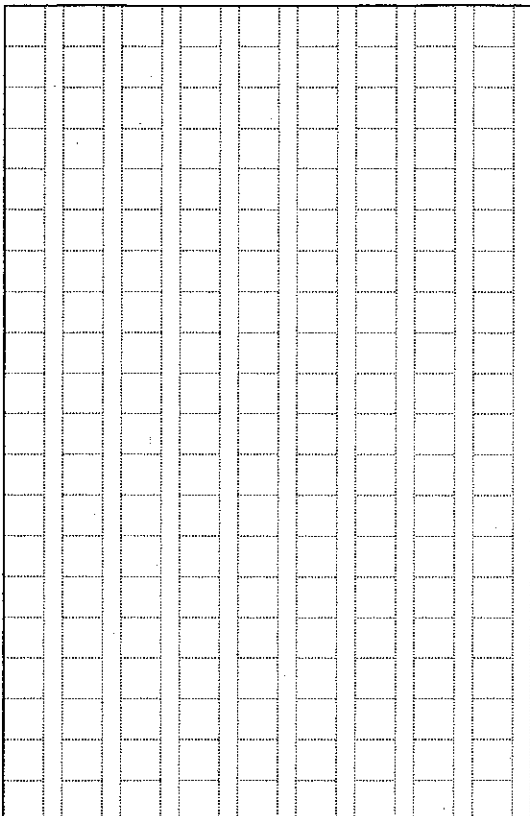
コナ 7-10 20x20

次は、電気を使っている機械について、話します。

電気を使っている機械は、本当におもしろい  
です。音が出たり、画像が動いたり、  
でもそれだけじゃなくて、あきてしまします。  
本当におもしろいのは、ばらすのです。IC  
やリチウムイオン電池、ばらすので、IC  
のなかIIと書いています。

このように、機械は本当におもしろいので  
とここで、ばらしたくない人。ばらして

めらる?



373 9-10 20x20

作ってみたい機械

西脇 巧

まず、機械ってなんだらうと、考えたとき  
に思いついたのは、車を造る機械や、飛行機  
を動かすモーターや、エンジンです。そうい  
う機械たちは、だれかに、こういいう物があ  
れば便利だな。と思っ、作られたのだと思  
います。

ぼくは、しょうらい、こういいう物を作っ  
て、  
作りたいと思いました。水で動く電車、  
日光発電

電の2つです。

一つ目の水で動く電車をなせ作りた  
いかと、  
いうと、現在どんどんCO2が出されていて、  
もう来地球に在る全ての生物がせつめつある  
と聞いたことがあるからです。水で動く電車  
を作ればCO2が出ないし、無だな電気を  
使わな  
いから作ってみたいと思いました。  
無だな電気を使くと、発電所からCO2が  
多く  
出て、かんきょうが壊れかいてしま  
います。  
そういいうふうなことで、かんきょう  
が壊れ

20x20 中程度使用

20x20 中程度使用



いさねないようにするにはどうしたら良いかと、考えたときに、水で動く電車を考えました。

二つ目の月光発電をなぜ作りうとしたかというて、一つ目の水で動く電車を作りたい理由の中にもあつた、かんきょううはかいを防ぐためです。二つ目の理由は、太陽光発電でエネルギーが作れるのなら月光発電でもエネルギーが作れるのではないかと思ひからうです。

三つ目の理由は、夜には太陽光発電だと発電

電でぎなりので、月光発電を考えたました。そうすること、朝も夜も発電できると考えたからです。

しつう来、ぼくが考えた水で動く電車、月光発電が使われればいいなと思ひます。

スズカ 中低級用 グン-1 20x10

スズカ 中低級用 グン-1 20x10

No.1

パン子ちゃんとおまのきかい  
東辰 和幸

パンダのパン子ちゃんたちがぐんす、竹の森のどくつには、昔かしかつたお、てきた、きかいがあります。きかいの名前は、マパンダおたまけましん又びです。そのきかいは、せんまりをまくて、銀のききが出てきます。

ある日、パン子ちゃんたちは、きかいを出してみました。たてとよきは六メートルです。

形は四角です。スイッチをおすと銀のききが出てくるのです。銀のききは、チヨグリートのまじがします。

別のスイッチをおすと、きかいが音をたてました。そこでパン子ちゃんたちは、きかいの葉をに入れてみました。すると、おどりのききが銀のききになりました。

三つ目のスイッチをおすと、たてやきかでてきます。たてやきの中はたてはなく、銀のききかよりのです。

コクニ ケ-10 20x20

No.2

ニエのきかいのおかげで、ペンドの教がふえ  
ましと。めだたしめだたし。

コクヨ ケ-10 20X20

No.1

ぼくは、学校の園工の時間にじしやくで動  
く車を作りきました。車は、ニコのじしやくか  
く、つ二うとずるカで、動かします。  
動かした方はペトホルの口に、じしやく  
を近づけます。するとセンチメートルぐらい  
すすみます。でも近づけないとすすみません。  
よせ進むかといくと、ペトホルのキヤッ  
プうらにじしやくをもう一つ、つけてあるか  
らです。友だちはさいしよは、なんで動くの  
か分りませんでした。理由は、じしやくが一  
ことかないのに、どうして動くのかと、ふ  
しぎに思いました。教室でふたをはずし  
て動くしくみが見えようにしておいたのに、  
しておいたのに友だちは、すぐにかたをし  
めて動かしていました。なんで、じしやくの  
力で動く車にしたか、たかというと、風のカ  
で動くじしやくをつくると、子がいたからです。  
でも、友だちはほとんど手で動かす車で

東京 和幸

コクヨ ケ-10 20X20

た。

先生が、図工の時間にみんなの前で、

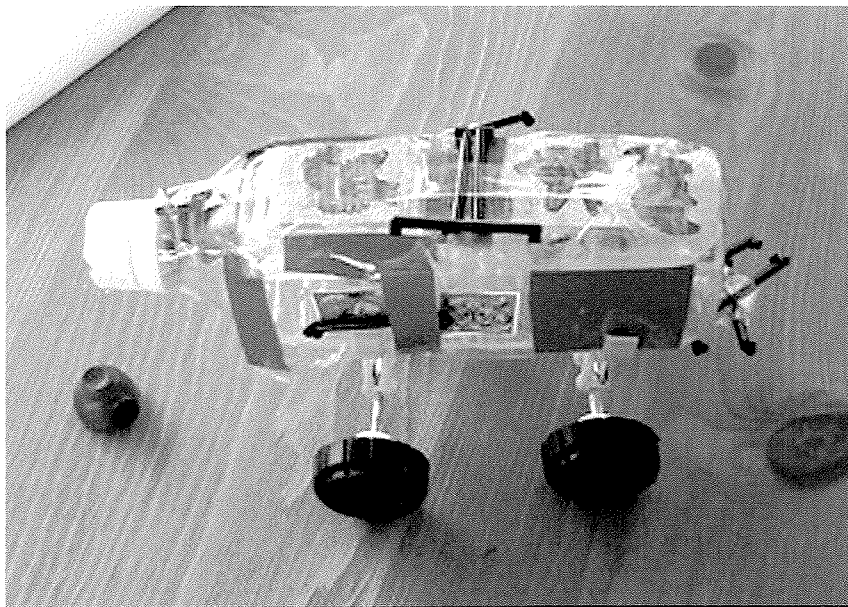
「東京くんは、じしやくで動かしているよ」と、発ひょうしました。

家に帰ってから、ママにじましました。

この車を作った、いい気分になりました。

おしまひ。

コクヨ ケー10 20X20





人間と機械の関わり	宮城教育大学附属中学校二年 船山真理子	私たちは、毎日、掃除機や洗濯機、プリンタ、コンピュータ等の機械をたくさん利用している。もし、機械がなかったら私たちはどのような生活を送っているのだろうか。私の一日を想像してみた。	朝、太陽が昇る頃起床。井戸水か湧き水で顔を洗い、口をすすぐ。薪で火をおこして朝食を作る。日時計を見て、八時頃学校へ向かう。太陽が南中高度にさしかかるとお弁当の時間だ。日時計が五時を指す頃帰宅。ろうそくの明かりで夕食を食べ、その後勉強や宿題をする。ろうそくの明かりは薄暗いから、本を読むと目が疲れて、すぐ眠くなるかもしれない。そういうときは、鉄釜の五右衛門風呂に入り、一気に目を覚ましてまた勉強。	こうして見ると、時間はゆったり流れるけれど、火も水も光もスイッチ一つ、またはバ	ーの上げ下げだけですぐに手に入るわけでは
-----------	---------------------	---	---	---	----------------------

1

ないから、不便な生活を強いられることになるだろう。掃除をするときは、ハタキと雑巾。洗濯は、洗濯板とたらいを使った一日がかりの力仕事になるかもしれない。	様々な機械が発明され、発達したことで効率的に作業ができるようになり、生活は格段に便利になった。今や私たちの生活は機械の恩恵無しには成り立たないほどだ。機械によって人間は多くの自由な時間を手に入れることができたが、ただ、便利な生活を満喫しているだけで良いのだろうか。	これからは、機械ができることは機械に任せ、人間は、人間にしかできないことにもっと力を注いでいく必要があると思う。例えば、何故？と疑問を持ち、深く考えること。美しさを感じ、それを様々な手段で表現すること。周囲の人や動物、植物に愛情を注ぐこと。今、手に入るものから想像を絶するようなものを創り出すこと。私は、人間にしかできないことをたくさん見つけ、それを大切にしていきたい
---	--	--

2

たいと思う。

ロボットの不思議

会友番号J84 村上 榛菜

わたしは今までたくさんロボットの出会いがあった。ロボットは生きていくかのようにいろいろな知恵、それぞれの個性などを持っている。このような不思議いはいのロボットが大好きだ。

わたしが初めて見たロボットはロボットグランプリの大道芸ロボットだ。毎年見に行くと、会場しんさん員もやっていた。その中でも印象に残ったのが「目覚ましロボット」。なかなか起きられない人に水をかけたりフワフワのたわしで顔をくすぐったりするロボットだ。自分もやってもらいたいと思ったり、ここまですれなくても起きられるよと思ったりした。ロボットに起こされているお兄さんはゲゲホいっていった。

昨年の夏休みは、東京工業大学でこれまでとちがったロボットに出会った。人間にかわって仕事をするロボットだ。すごかったのは

「ローラーウォーカー」。荒地などでは四本足で歩くけれど平らな所では足をタイヤのようになててすべる。動きが速くなりとてもスムーズにすべりだせる。わたしは水面のアメーボを思い浮かべた。このロボットにカメラを着ければそこに居かなくても現場の様子を見ることが出来る。

わたしが家に連れて帰りたかったのが「アリアルフライ」。かわいい笑顔で「どうしたの」と聞いて人間の言った言葉を聞き分ける力を持っている。さらに聞いたことを教えてくれる。でもわたしが東京の天気を聞いたが教えてくれなかった。造った人になれてるみたいだった。ロボットも人になれるのかなと不思議に思った。

人を救ひさせるロボット、人を助けて仕事をするロボット。いろいろなロボットがいる。ロボットは生きてないけど造った人がこめた命があると思う。未来のロボット達も知恵と個性を生かしたくさんの人々に不思議とみ

KYOKUTO 20x20

くをあたえていくだろう。

KYOKUTO 20x20